

# CORIAN® NEWS

シュガービレッジ 高崎ショールーム  
北欧スタイルの暮らしになじむキッチン

mastermind JAPAN ヘッドオフィス  
ブランドの世界観を体感するミニマルデザインのオフィス

THE LIFESTYLE STORE by Columbia  
ブランドコンセプトとリンクするディスプレイデザイン

THE GINZA 「THE COTTON」  
体験で理解するブランドショップ

タカラスタANDARD 浜松町ショールーム  
繊細でモダンなグレージュのキッチン

神奈川県 K氏邸  
見て、美しく空間を印象づけるキッチン



## 北欧スタイルの暮らしになじむキッチン

シュガービレッジ 高崎ショールーム

「ヒュッゲ(hygge)」というデンマーク語をご存じだろうか。北欧の家具やライフスタイルに興味を持っている方なら、よく知っているかもしれない。「ヒュッゲ」とはデンマーク人が大切にしている心のありようを表す言葉で、ほっとする時間や居心地のよい空間、そこから生まれる幸福感などを指している。たとえば、「家の中やインテリアを整えて、心地よく、くつろげる空間にすること」「スローな時間を楽しむこと」、そのための環境を整えたりすることも「ヒュッゲ」に含まれるそう。そんなライフスタイルを体感できるのが、高崎市にある佐藤建設工業の「シュガービレッジ 高崎ショールーム」だ。「シュガービレッジ」は同社の注文住宅ブランド。漆喰や無垢材、断熱性の高い木製サッシを使った、北欧スタイルのモダンな家づくりを通して、「くつろぎとやすらぎの暮らし方」を提案している。

カフェやコミュニティスペースとしても開放しているショールームには、広々としたオープンスペースに北欧デザインのソファやチェアが心地よく置かれている。また、フロアの一部を仕切ってモデルハウスのような空間を設け、北欧から直輸入した水回り設備、パントリーや家事室の収納ユニット、薪ストーブなども展示している。

「家にいる時間をいかに快適に過ごすかということ」を大切にしている北欧では、住まいの性能や家具のデザインがとてもしっかりしています。消費主義の生活ではなく、心を満たすことを大切にしたい考え方は、長く使えていつまでも飽きのこないものを提供したいと考える私たちの家づくりと共通していると思います」と同社の佐藤宗孝氏。

施主との打ち合わせで一番時間をかけているというキッチンは2タイプを展示。オーダーキッチンの見本として置いているのが、シンクをコーナーに配置して、その両サイドにカウンターが広がる

変形のキッチン。「既製品ではあまり見かけない設計ですが、調理中も片付けの際も無駄な動きが少なく、作業効率のよいキッチンです。フルオーダーだからこそ実現できる、個性あるキッチンを見ていただきたいと考えました」と佐藤氏。複雑な形でも継ぎ目なく、使いやすく美しく仕上げられたワークトップはコリアン®ペブルテラツォ。施主からの要望が多いという真っ白なキャビネットとのコントラストで、個性的な色柄がよりいっそう引き立っている。

「ペブルテラツォは、上品さとモダンな印象、フェミニンさも併せ持つ、バランスのよい色柄だと思いました。粒目がハートのよう見えたりして、見学された方から『かわいい』というお声もいただいています。ワークトップに目地がないということも、長く心地よく使えるキッチンにするために欠かせない条件ですね」。

「ヒュッゲ」な暮らしには、家族や親しい友人と楽しむ食事の時間も大切な要素。その中心に、使い心地のよいお気に入りのキッチンがある。そんなライフスタイルのイメージが浮かんできた。

使用色  
ペブルテラツォ



- 所在地 群馬県高崎市下小島町 57-3
- デザイン・施工 株式会社佐藤建設工業
- キッチン製作 株式会社派友

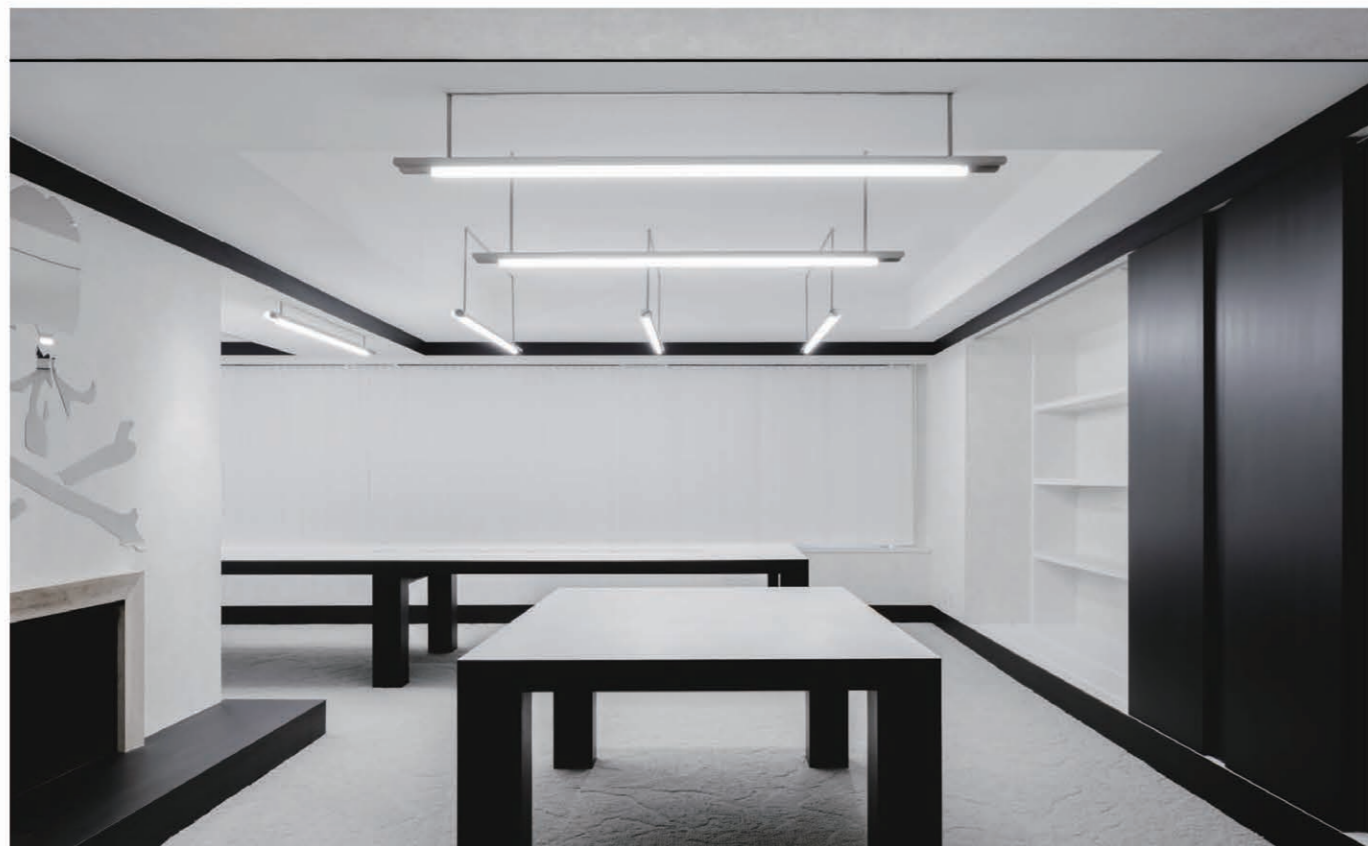


Photo: Norihito Yamauchi

## ブランドの世界観を体感する ミニマルデザインのオフィス

mastermind JAPAN ヘッドオフィス

メイドインジャパンにこだわり、日本の高品質な素材と卓越した技術を世界に発信するアパレルブランド「マスターマインド・ジャパン (mastermind JAPAN)」。その創作の拠点となるヘッドオフィスが改装されブランドの世界観を体感できる空間となった。設計は、照井洋平氏と湯山皓氏によるデザインオフィス「IIN」だ。

「マスターマインド・ジャパンは、素材にこだわりながら、装飾的な表現は最小限にとどめたスタイリッシュな服作りをされています。そのミニマリスティックな世界観をオフィスにも表したいと考えました」と照井氏。白と黒の線と面で構成された空間は、三次元であるはずなのに、奥行きが消し去られ、平面に描かれたグラフィックのよう。訪れる人は、非現実世界に身をおいているようなトリッキーな感覚に襲われるかもしれない。

「建物自体は古く、梁や柱が複雑に入り組んでいました。その装飾的な空間とブランドの世界観とのギャップをどう埋めるかが課題でした。凸凹を隠すのではなく、ミニマルな手法で逆に強調することで、平面的に見せることができるのではないかと考えました」と湯山氏。そこで、デザインの要素を白と黒と光のみに絞り、全体を通して厚みのない表現を心がけ、奥行きを感じさせない空間を作り上げた。家具も同じ手法でデザインすることで、さらに統一感のある空間に仕上げた。ワーキングスペースに置かれたテーブルには、コーリアン®が使われている。

「家具の場合は、厚みのないデザインにすることで、実際に使う際にストレスを感じることがあります。でも、コーリアン®の加工性が、今回とても効果的に働いて、理想としていたデザインと、使い心地のよさを両立することができました」と湯山氏。木とコーリアン®を組み合わせたワークテーブルは、コーリアン®の天板の厚みを感じさせないよう留め加工で仕上げているが、実は1mmだけコーリアン®

使用色  
ホワイトトリプル (2019年カタログ掲載終了色)



●デザイン・設計 株式会社IIN  
●施工 有限会社インテリア村上  
●家具製作 株式会社イェザキインテリア工房

が大きい天板勝ちの設計。これにより、人の手が触れるエッジ部分の角を落とし、長時間の作業でもストレスを感じることなく使えるテーブルが完成した。「複雑なディテールですが、どうしてもこだわりたい部分でもありました。そこで、家具の製作会社に相談したところ、コーリアン®なら加工精度が高いので問題ないと言われて、実現できました。」

色彩や装飾、あらゆる要素を排除したように見える一方で、実は家具や壁、床には、それぞれテクスチャーの感じられる素材が使われている。空間全体から、それぞれのパーツに目を移して近づくと、たんにリアルな手触りや奥行きを感じ、現実の世界に引き戻されることになる。そうしたギャップにも感覚を揺さぶられる楽しさがある。「天板に使用したホワイトトリプルは、素材の中に柄があるように見えるので、大きな面を使うとより奥行きを感じます。同じ白でもいろいろなタイプが選べて、こうした透明感のある白を表現できるのも、コーリアン®ならでは。ほかの素材には代えがたい、独特の素材感です」とお二人。

シンプルな見た目に、こだわり抜いた素材や技術そしてディテールの繊細な仕上げを内包する豊かなデザイン。ブランドのアイデンティティを表現した空間デザインにおいても、コーリアン®の加工性の高さや独特の素材感が効果的に役立っていた。



## ブランドコンセプトとリンクする ディスプレイデザイン

THE LIFESTYLE STORE by Columbia

アウトドアブランド「コロンビアスポーツウェア」が原宿エリアで3店舗目となる「THE LIFESTYLE STORE by Columbia」を2019年12月にオープンした。取り扱う商品ラインナップは他店舗と異なり、通勤や普段使いに取り入れることができそうなアーバン系やストリート系の商品が中心。キャットストリートと明治通りの間の路地沿いに位置する店舗は「ストーン」をコンセプトカラーにした、打ちっ放しのコンクリートのようなモルタル仕上げと木を組み合わせた内装で、都会的な雰囲気だ。コロンビアが取り扱うシューズブランド「ソレル(SOREL)」の専用コーナーが店内の壁一面を使って設けられている点も、他店舗にはない特徴だという。

店舗デザインを担当されたコロンビアスポーツウェアジャパンの鈴木智氏に、お話をうかがった。「こちらの店舗はライフスタイル寄りの商品に特化した、いままでにない新業態です。ソレルの商品をディスプレイしているウォールパネルもはじめて製作しました。コーナー全体は、ソレルブランドで統一されているデザインコードに沿って、マーブル調の石やモルタル、ポイントカラーの赤などを使用してデザイン。ディスプレイされた商品の背景になるウォールパネルに「コロンビア」のロゴが使用されている。

「コロンビア」ブランドのシューズをディスプレイするウォールパネルには木製の有孔ボードを使用しているのですが、よりファッショニビリティを重視した商品展開をしているソレルのイメージにあう新しい素材を探して、コリアン®が候補にありました。レインクラウドの明るめのグレーカラーと、自然な流れ模様がデザインコードにも合致し、大柄でありながら主張しすぎることがなく商品を引き立てる色合い、天然石のよ

うなリッチな風合いも決め手になったという。「ウォールパネルとして使用するには、素材としての精度や加工性も重要でした。パネル自体を壁面に掛ける構造であること、パネルに小さな穴を開けて商品を支える板を引っ掛けるので、凹凸があったり、加工に手間のかかる素材は向いていません」。

コリアン®はそうした条件はクリアしていたものの、施工会社にとってもパネルとして加工するのは初めてのことで、穴開け加工をしたものに負荷がかかる構造のため、耐久面での不安もあったという。そこで、より比重の軽い素材も検討したが、理想とするイメージにピッタリとはまるものが見つからなかったそう。「施工会社さんと加工の仕方や施工方法など、いろいろ相談して、試行錯誤を重ね、実現することができました。これまでに使用したことのない素材でチャレンジができて、デザインの幅も広がりました」と鈴木氏。さらに、カウンターにディスプレイする際に使用するライザーもレインクラウドで製作。ブランドのコンセプトとリンクするディスプレイデザインの効果もあってか、同店でのソレルの売れ行きも伸びているという。

使用色  
レインクラウド®



- 所在地 東京都渋谷区神宮前6-13-11
- デザイン 株式会社コロンビアスポーツウェアジャパン
- 施工 株式会社プラスアルファTOKYO



Photo: Takumi Ota



## 体験で理解する ブランドショップ

THE GINZA 「THE COTTON」

そのショップに足を踏み入れると、一瞬で日常から解放されるような心地よさに包まれる。瑞々しい映像と心地よい音楽に満たされた空間、ふっくらとした座り心地のよいスツールのような仕器に大切に並べられているのは、世界ではじめて化粧用コットンを生み出した資生堂化粧部がブランド化した「ザギンザ」が、製法や素材にこだわり抜いて開発した最高品質のコットン「THE COTTON」。風合いや質感の異なる4種類のコットンから、自分の肌感覚にあったものを選ぶことができるという商品だ。

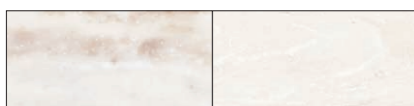
銀座二越8階にある空港型市中免税店「Japan Duty Free GINZA」に昨年オープンした「THE COTTON」のブランドショップでは、訪れた人が直感的に商品の使い心地をイメージし、深く理解するための情報が得られるというユーザー体験が提供されている。この店舗の空間デザインを手がけた富川浩史氏にお話をうかがった。

「こちらは『THE COTTON』としては初めての店舗で、ブランドのコンセプトやフィロソフィを、ユーザー体験として提供したいという要望でした。そこで、映像、音楽、空間デザインが一体となった店舗をコンテンツ制作会社と協力しながら計画しました。」

富川氏が空間デザインで表現しようとしていたのは、「肌感」。そこですべて使用する素材のデザインコードを設定したという。

「イメージとしては、赤ちゃんの肌のような質感のある素材です。透き通っていて奥行きがあり、光を反射して、輝きのあるもの。そして、触ると柔らかいものというコードを決めました。たとえば、ディスプレイテーブルにはファブリックを使い、壁面は光を反射するポリエステルで織った生地を重ねたものを布団張りし

使用色  
ウィッチヘーゼル、シラスホワイト



- 所在地 東京都中央区銀座4-6-16 銀座三越8階 Japan Duty Free GINZA内
- 基本設計・監修 合同会社富川浩史建築設計事務所
- 実施設計・施工 株式会社乃村工務社
- ブランディングディレクター 株式会社エフインク
- UXデザイン・店舗演出 株式会社ソフトブレイン
- サウンドデザイン 株式会社エコースプレス

ています。柔らかい素材で作れない部分は、「奥行きがあって光り輝く硬い素材」という条件で選定し、床以外はすべて「コリアン」で作ろうということになりました」と富川氏。

「商品を載せるトレイと壁面のニッチにウィッチヘーゼル、巾木やディスプレイテーブルの蹴込み部分にはシラスホワイトが使用されている。円形のトレイでは、ディテールの加工形状を工夫することで、「硬いけれど、柔らかく見える」といった表現を採用。逆に4種類の商品それぞれの情報をディスプレイしたニッチは、訪れた人の目に留まるよう、存在感のあるフレームをデザイン。ディテールの仕上げも丸みをつけずシャープに仕上げている。こうした加工の自由度もコリアン®を選んだ理由のひとつだったという。

「コリアン®は素材自体に奥行きがあるので好んで使っています。奥行きとはつまり、本物の質感だと思えます。コリアン®には人工大理石という説明が付きませんが、僕自身としては、本物の代わりではなくひとつの本物だと捉えています。本物を使うことで、上質な空間が生まれます。素材選定のときに大切に考えることのひとつです。」



## 見て、美しく 空間を印象づけるキッチン

神奈川県 K氏邸



## 繊細でモダンな グレージュのキッチン

タカラスタダード 浜松町ショールーム

建築家や設計事務所が設計する住宅のキッチンやバスルーム、サニタリー空間などのインテリアデザインを手がけるプラスデザイン。クラシックスタイルからモダンスタイルまで幅広くラグジュアリーなインテリアを提案している。今回誌面でご紹介するのは、眺望に恵まれた高台に新築された邸宅のために同社がデザインしたアイランドキッチン。キッチンのワークトップとダイニングテーブルが一体になったデザインで、天板の幅が最小で645mm、最大で1738mmまで広がり、上から見ると台形のようなユニークな形。シームレスに接合された長手方向4m超のコーリアン® グレーオニックスの天板が、やわらかく傾斜を描きながら高低差のあるキッチンとダイニングテーブルをつないでいる。部屋の奥から、大開口の窓に面したダイニング方向へ向かって広がる形状と、グレーオニックスのダイナミックな流れ模様の柄との組み合わせで、迫力のある仕上がりになっている。

「キッチンからダイニングへ一体感のあるデザインをご提案したところ、オーナーにとっても気に入っていただき、実現したキッチンです。曲げ加工が必要で、ワークトップからテーブルトップまでシームレスにつくることが必須のデザインですから、素材はコーリアン®。しかない」と最初から考えていました」とプラスデザインの加藤雄雄氏。

オーナー自身が選んだというグレーオニックスは、透明感のあるベースに有機的な流れ模様が浮かびあがる個性的な色柄。無彩色のカラーは床の大理石柄のタイルとも調和している。キッチンの蹴込み部分とテーブルトップの裏面には照明が取り付けられているので、夜になると一段と存在感を増し、キッチンからオープンにつながるリビングまで、空間全体の雰囲気印象づける重要なインテリア要素となる。



キャビネットの扉もコーリアン®のワークトップも、まるで薄い板のように見える。木口にテーバーをつけることで実現したデザインだが、加工には高い精度が求められる。

「タカラスタダード浜松町ショールーム」は集合住宅向けのキッチン、洗面化粧台、ユニットバスなどを扱う一般非公開のショールーム。マンションデベロッパーやゼネコン、設計事務所などの集合住宅の企画・設計担当者向けに、予約制で公開している。展示されているキッチンは、いずれもハイグレードマンションを想定したオーダーメイドキッチン。タカラスタダードの代名詞であるホールローキッチンをはじめ、さまざまな素材・デザイン、設備機能を備えたキッチンが提案されている。

ショールーム入り口近くに置かれているのは、すっきりとしたモダンなデザインでありながら、フエミン的なテイストをまとったアイランドキッチン。光沢のあるグレージュのキャビネットに、コーリアン®セビアリニアのワークトップの組み合わせが、上品でエレガントな印象だ。

「ハイグレードなマンション向けのショールームということもあり、展示しているキッチンは濃色系が多いのですが、こちらのキッチンでは異なる存在感を持たせたいと考えて、明るいカラーを選びました。」



使用色  
グレーオニックス



●デザイン・設計 株式会社プラスデザイン  
●コーリアン®加工協力 株式会社インテック

「リビングに面した位置にあるキッチンですから、見て美しいキッチンになるようデザインしました」と加藤氏。そのキッチンで大きな面積を占めているのがコーリアン®の天板だ。

「美しい仕上がりにより、オーナーもとても満足されていて、喜んでいただくことができました」と加藤氏。

機能だけでなく、ただそこにあるだけで、住む人の心を豊かにすることができるキッチン。新しい家とともに、これからはじまる暮らしの中で、長くオーナーに愛される存在になることだろう。

使用色  
セビアリニア



●所在地 東京都港区浜松町1-27-16 浜松町DSビル2階(予約制)

た。ワークトップには、これまでにないストレートな流れ模様のリニアシリーズをぜひ使いたいと思いました」と説明してくださったのは、このキッチンの企画を担当されたタカラスタダードの永井尚氏。デザインのこだわりは、薄さと軽さを表現すること。「キャビネットの扉とワークトップの木口はテーバーをつけたデザインになっていますが、コーリアン®は加工性がよいので、見付を非常に薄く仕上げることでできました」と、同社の松場宏典氏。

細いラインと面で構成されたミニマルなデザインのキッチンであるため、サイズの大きなワークトップでも、継ぎ目が見えない仕上げとすることもこだわった。「ご覧になった方から、「一枚板ですか」と質問されることもあります。継いでいることを説明すると、びっくりされるほどシームレスな仕上げにすることができました。あまり見たことのない柄なので、この素材は何か、という質問をいただくことも多いですね」と永井氏。

ミニマルなデザインだからこそ、一つひとつのパーツの存在感が引き立ち、色柄の組み合わせが全体の印象を大きく左右することを実感させてくれるキッチンだ。



## 曲がると、変わる。

19世紀のドイツ、産業革命のただ中で、ある椅子が誕生しました。無垢の木をしなやかに曲げる「曲木」の技術を使ったその椅子は、エレガントで軽快なデザイン、機能性にもすぐれ、しかも大量生産が可能。世界中で大ヒットし、家具の歴史を変えることになりました。

コーリアン®が生まれたのは、そのおよそ100年後。石のように硬質で丈夫な素材でありながら、曲線を表現する変幻自在の柔らかさを持ち、シームレスな仕上げもできる。それまでの板材の常識を変え、空間デザインに新たな可能性を提示しました。つくりたいのは、唯一無二の空間。コーリアン®の挑戦は、これからも、変わることなく続いていきます。

コーリアン®を扱うプロのお客さま向けに、WEBサイトをさらに使いやすくリニューアルしました。

[www.corian-pro.biz](http://www.corian-pro.biz)



◎施工事例募集  
コーリアン®を使用した施工事例を募集しています。詳しくは下記までお問い合わせください。

### デュポン・MCC株式会社

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目15番9号 第45興和ビル TEL:03-5410-8551 FAX:03-5410-8501

©デュポン・MCC株式会社 著作権:いかなる形式においても許可無く、本誌の一部または全部の複製を禁じます。©2020 Du Pont-MCC Co.,Ltd. All rights reserved. CORIAN®, コーリアン®, Make Your Space™, DuPont™は、米国デュポン社もしくは米国デュポン関連会社の登録商標または商標です。